



岡本誠司@S.Ohsugi 仲道郁代@Taku Miyamoto 伊藤悠貴@T.Tairadate

仲道郁代

ベートーヴェン“ピアノ室内楽”全曲演奏会 Vol.1

人気、実力ともに日本を代表するピアニスト・仲道郁代が長年温めてきた「ベートーヴェン“ピアノ室内楽”プロジェクト」、ヤマハホールを皮切りについに実現！本プロジェクトは、2027年のベートーヴェン没後200年に向け、ピアノ室内楽を年代順に取り上げ、時代ごとに今もっとも活躍中の若手奏者と共に取り組んでいきます。

記念すべき第1回目は、ウィーンでのベートーヴェン初期時代に作曲された「ピアノ三重奏曲 Op.1」の3作品すべてをお届けします。共演には、2021年ARDミュンヘン国際音楽コンクールバイオリン部門第1位を受賞し、今もっとも注目されるバイオリニストの一人・岡本誠司と、プラムス国際コンクールに続きウィンザー祝祭国際弦楽コンクールで日本人として初優勝という快挙を成し遂げた若き俊英のチェリスト・伊藤悠貴を迎え、ベートーヴェン音楽学者の第一人者である平野昭の監修のもと、ベートーヴェンの魅力に迫ります。

室内楽で迎えるベートーヴェンの軌跡を、響き豊かなヤマハホールでぜひご堪能ください。

仲道郁代(ピアノ)、岡本誠司(バイオリン)、伊藤悠貴(チェロ)
平野 昭(音楽学者)

L.v.ベートーヴェン/

ピアノ三重奏曲 第1番 変ホ長調 Op.1-1

ピアノ三重奏曲 第2番 ト長調 Op.1-2

ピアノ三重奏曲 第3番 八短調 Op.1-3

2022/8/21(日) 14:00開演(13:30開場)

ヤマハホール

〒104-0061 東京都中央区銀座7-9-14

2022/3/12(土)前売開始

チケット料金(全席指定) 5,000円

主催/ヤマハ株式会社

チケット取扱い

チケットぴあ <https://pia.jp/t/> [Pコード:213-350]

ヤマハ銀座ビルインフォメーションカウンター(ヤマハ銀座ビル1階)

※政府のイベント人数制限方針により、販売席数が変動する可能性があります。予めご了承ください。

※都合により、出演者、曲目が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

※未就学児のご入場はご遠慮いただいております。

※チケット料金には消費税が含まれております。

お問合せ ヤマハ銀座ビルインフォメーション 03-3572-3171(11:00~18:30/火曜定休 ※但し緊急事態宣言に基づく臨時休業の可能性有) ※お電話でのチケットのご予約は承っておりません。



©Kiyotaka Saito

仲道郁代 Ikuyo Nakamichi (ピアノ)

桐朋学園大学1年在学中に第51回日本音楽コンクール第1位、増沢賞を受賞。ジュネーヴ国際音楽コンクール最高位、メンデルスゾーン・コンクール第1位、エリザベート王妃国際音楽コンクール入賞。

これまでに、L.マゼール指揮ピッツバーク交響楽団、バイエルン放送交響楽団、フィルハーモニア管弦楽団、P.ズッカーマン指揮イギリス室内管弦楽団(ECO)、R.フリーベック・デ・ブルゴス指揮ベルリン放送交響楽団、P.ヤルヴィ指揮ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団など海外オーケストラとも多数共演。

2005年にはウィンザー城にてイギリス室内管弦楽団主催のチャールズ皇太子夫妻臨席の「結婚祝祭コンサート」に出演。CDはソニー・ミュージックレーベルズと専属契約を結び、レコード・アカデミー賞受賞CDを含む「仲道郁代ベートーヴェン集成〜ピアノ・ソナタ&協奏曲全集」他、「モーツァルト：ピアノ・ソナタ全集」「シューマン：ファンタジー」「ドビュッシーの見たもの」などをリリース。著書に『ピアニストはおもしろい』(春秋社)などがある。

2018年よりベートーヴェン没後200周年の2027年に向けて「仲道郁代The Road to 2027プロジェクト」をスタートし、リサイタルシリーズを展開中。

一般社団法人音楽がヒラク未来代表理事、一般財団法人地域創造理事、桐朋学園大学教授、大阪音楽大学特任教授。令和3年度文化庁長官表彰、ならびに文化庁芸術祭「大賞」を受賞。

オフィシャル・ホームページ <http://www.ikuyo-nakamichi.com/>



©S.Ohsugi

岡本誠司 Seiji Okamoto (バイオリン)

第19回J.S.バッハ国際コンクールのヴァイオリン部門にてアジア人で初めて優勝。ヴィエニャフスキ国際ヴァイオリン・コンクール第2位、エリザベート王妃国際コンクールでのファイナリスト、2021年にはARDミュンヘン国際音楽コンクールヴァイオリン部門第1位入賞など受賞歴多数の実力派。現在はクロンベルク・アカデミーに在籍し、ベルリンにて研鑽を積みながら、日本およびヨーロッパでソロはもちろ室内楽など精力的な演奏活動を行っている。これまでに読売日本交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、ベルギー国立管弦楽団、サンクトペテルブルク交響楽団など国内外のオーケストラとの共演を重ねている。

東京藝術大学を卒業後、ベルリンのハンス・アイスラー音楽大学の修士課程修了。

ヴァイオリンはNPO法人イエロー・エンジェルよりG.F.プレッセンダの貸与を受け、(株)日本ヴァイオリンより名器貸与特別助成を受けている。

オフィシャル・ホームページ <https://seijiokamoto.net/>



©Hideki Shiozawa

伊藤悠貴 Yuki Ito (チェロ)

15歳で渡英。21歳でブラームス国際コンクール、ウィンザー祝祭国際弦楽コンクールに優勝。以来、フィルハーモニア管弦楽団をはじめとする国内外の主要オーケストラ、小澤征爾氏のもと特別結成されたオザワ祝典合奏団、また多くの著名指揮者と共演。

ラフマニノフ作品、イギリス音楽の研究をライフワークとし、自らによる多数のチェロ版編曲を含むその演奏は、V.アシケナージ、J.ロイド・ウェバー各氏からも共演を通じて称賛されている。リサイタルはロンドンのウィグモア・ホール、ロイヤル・フェスティバル・ホールをはじめ世界各地で行う他、ウィンザー、シュレスヴィヒ=ホルシュタイン、セイジ・オザワ松本フェスティバルなど国内外の音楽祭に客演。レコーディング活動も活発で、これまでにキングレコード他から4枚のアルバムをリリース。また指揮者としても国内外で活動し、2013年にロンドンでナイツブリッジ管弦楽団を創設。2016年には日本・アンゴラ外交関係樹立40周年記念事業としてカメラータ・ルアンダを指揮し、アフリカのオーケストラ史上初となる日本ツアーを成功に導いた。その他、一柳慧「龍笛とチェロのための音楽」、雁部一浩「ロマンス」を含む新作の初演、S.ザハーロフ、I.サレンコなどのバレリーナとの共演、作曲、文筆、大学講座、またマスメディアにも多く出演するなど、活動は多岐にわたる。倉田澄子、A.ポヤールスキイ、D.ゲリンガス各氏に師事。

英国王室音楽大学首席卒業。第17回齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。

仲道郁代 ベートーヴェン “ピアノ室内楽”全曲演奏会 Vol.2&Vol.3

仲道郁代 ベートーヴェン “ピアノ室内楽”全曲演奏会 Vol.2(2023年度予定)

- L.v.ベートーヴェン/
チェロ・ソナタ 第1番 へ長調 Op.5-1
- チェロ・ソナタ 第2番 ト短調 Op.5-2
- 4手のためのピアノ・ソナタ 二長調 Op.6
- ピアノ三重奏曲 第4番 変ロ長調「街の歌」 Op.11
- バイオリン・ソナタ 第1番 二長調 Op.12-1

仲道郁代 ベートーヴェン “ピアノ室内楽”全曲演奏会 Vol.3

- L.v.ベートーヴェン/
バイオリン・ソナタ 第2番 イ長調 Op.12-2
- バイオリン・ソナタ 第3番 変ホ長調 Op.12-3
- 五重奏曲 変ホ長調 Op.16
- ホルン・ソナタ へ長調 Op.17

※掲載曲は予定曲となります。詳細は決まり次第発表いたします。



ヤマハホール YAMAHA HALL

〒104-0061 東京都中央区銀座 7-9-14
03-3572-3139(10:00~18:00/平日のみ)

<https://www.yamahamusic.jp/shop/ginza/hall.html>

- 東京メトロ銀座線/丸の内線/日比谷線
「銀座」駅A3出口より徒歩4分
- 都営地下鉄浅草線「新橋」駅、「東銀座」駅より徒歩7分
- JR線「新橋」駅より徒歩7分

ヤマハホール公式 Facebookページ
<https://www.facebook.com/yamahahall>



「いいね!」ボタンの
クリックをお願いします。

